

【第1号 2022/06/27】

<巻頭言>

図書館のリニューアルに伴い、図書委員の活動もリニューアルしようということで、今期からは図書委員の仕事を大きく4つに分け、セクションごとに活動していくこととなりました。この図書だよりは、編集部の最初の活動です。ぜひ御一読ください！図書委員による図書だよりをどうぞよろしくお願いいたします。

高2 恒松日菜 岡明日香

図書委員編集部員の「わたしのおすすめする本」

「旅する54字の物語」 氏田雄介 中2小寺

有名な54字の物語の都道府県版です。ちなみに兵庫県では、ある生産量の多い作物とある指標・基準のことについて書かれています。今まで知らなかった地域の特色や文化が学べるかもしれません。題名の通り物語は全て54字で書かれてあるので、本をあまり読まない人にもおすすめです。ぜひ一度読んでみてください。



「謎解きはディナーのあとで」 東川篤哉 中2酒井



暴言を浴びせてくる執事と北条家の令嬢で警察官の麗子が二人で事件を解決する小説です。推理要素だけでなくコメディもあるので固い本ではないですし、映画化、ドラマ化したことがあるので、是非笑いたい時、推理がしたいとき(?)に読んでみてください！

「パラドックス13」 東野圭吾 中2八杉

東京を舞台にしたミステリー小説です。突然街から人が消えた。残されたのは全く境遇が違う13人の男女。そんな場面から始まり、果たして13人の運命とは…。先が気になりますね！ギリギリまで追い詰められた人々の心情が見て取れて、非常に考えさせられます。13人の共通項を読みながら、推理するのもとても面白いです。是非手に取って、読んでみてください！



「風が強く吹いている」 三浦しをん 中2出口



毎年1月に開催され、大学生が熱き戦いをくり広げる箱根駅伝を目標に無名の大学が出場を目指していく青春ストーリーです。主人公の倉原走は空腹のためパンを万引きしてしまい、清瀬灰二に捕まっています。これからどのように箱根駅伝を目指すのか、それぞれのキャラクターも面白いです。是非読んでほしいです。

「君が電話をかけていた場所」 三秋穂 中3熊澤

“私と賭けをしませんか？ あなたは何度も考えたはずですが、「この醜い痣さえ消えれば、あの子と両思いになれるかもしれない」では、実際に痣を消してみましよう。それで恋が成就すれば、賭けはあなたの勝ちです。”自分の欠点を消すことで幸せになれるのか。ふと、そんなことを考えてしまう不思議な雰囲気の本です。夏が舞台の物語なので、是非夏に読んでほしいです。



「今夜、世界からこの恋が消えても」 一条岬 中3永松



僕は、毎日記憶を失う君に恋をした。いじめられている友人を庇った透は、クラスメイトに流されるまま、真織に嘘の告白をし、二人は「擬似恋人」となる。“お互い、本気で好きにならないこと”が条件だったが……。切なすぎる衝撃の結末。主人公の優しさ、思いやりに心打たれました。明日が当たり前に来るわけではない。ぜひ大切な人を考えながら、読んでみてください。

「昼休みが終わる前に」 高橋恵美 高1松田

変えたい過去について考えさせられる本です。修学旅行当日にクラスメイトを乗せたバスが事故に遭い、欠席していたりりこだけが助かった。そんな衝撃的な展開から始まります。思い出の教室に行くと、修学旅行前のいつもの生活にタイムリープすることになりました。そこで過去を変えようとするりりこ。時間が迫る中、りりこにはどんな結末が待ち受けていたのか？誰にでも消したい過去、変えたい過去があります。そんな時にぜひ読んでもらいたい本です。



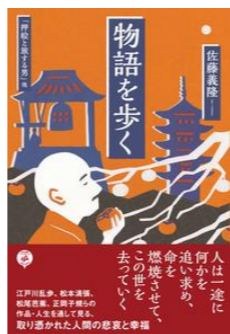
「検察側の罪人」 粟井脩介 高1村瀬



東京地検の検事、最上毅と沖野啓一郎は老夫婦刺殺事件の被疑者松倉重生を取り調べることになる。しかし、松倉は時効が成立している23年前の事件の犯人だった。最上は今回の事件の容疑者だと睨み、法の裁きを受けさせようとする。正義とは何なのだろうか？法律は本当に正しいのだろうか？裁判に勝者はいない、本当の正義とは何なのかを考えさせられる作品です。

「押絵と旅する男」 江戸川乱歩 高2前田

押絵に描かれた男女の秘密は信じがたく、美しく儂い。汽車に乗った主人公が出会った不思議な押絵を持った男の人との物語です。乱歩ならではのトリックがあり、しかし他の乱歩作品とは一味違ったものが楽しめる。そんな作品です。ぜひ電車に乗りながら読んでみてください。きっと同じ汽車の中で話が進行しているかのような体験ができ、より一層話の中に引き込まれます。



「あと少し、もう少し」 瀬尾まいこ 高2勝田



駅伝の県大会出場を目指す青春ストーリーです。出場するメンバー1人1人に焦点が当てられて、それぞれのメンバーの心情・過去や悩みまでもが描かれています。そんなメンバーたちが共に県大会出場に向けて日々頑張っている姿は読んでいる私たちに勇気を与えてくれて、何かを成し遂げたときの感動を味わえる、そんな一冊になっています。

キリトリセン

右ページの特集「先生インタビュー」ですが、これからこの図書だよりにて連載していきたいと思っています！！

そこで、みなさんが編集部員にインタビューしてほしい先生を教えてください！キリトリセンで切り取って、クラスの図書委員もしくは図書室まで！

「先生インタビュー」でインタビュー記事を見たい先生は誰ですか？

先生

【特集】先生インタビュー（恒松・岡）

◆野条実先生（高校二年学年主任 体育科）



Q.先生が学生時代に出会った、今でも印象に残っている本はなんですか？

A.実は、中高生時代に本を読んでいなくて…(笑)。だから学校の図書室の記憶もあんまりなくて。今思うともったいなかったなあって思うなあ。

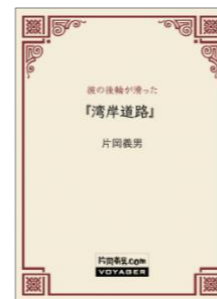
Q.中高生の私たちにおすすめしたい本はありますか？

A.(たくさん本をメモしてきました！)

まずは沢木耕太郎の『深夜特急』！これめっちゃ面白いよ！三浦しをんは「舟を編む」とか有名やけど、先生は『神去なあなあ日常』とか『仏果を得ず』が好きやなあ。今は高田郁の『あきない世傳金と銀』の新刊を待ってる！この本には学校の図書室で出会った。

Q.どんな子供時代を過ごしましたか？

A.何も疑わず、クラブと学校の生活だったなー。高2の終わりくらいから頑張ったって感じかなあ。



ほかにもたくさん本を紹介してくださいました！ありがとうございました！